

土岐川グリーンベルト通信 第12号

平成17年度「笠原の森」中学校の活動報告

10月21日(金)に樹林整備の効果検証に関する講義。

10月21日(金)岐阜大学生によって、**樹林整備の効果とその検証に関する講義**が行われました。

今年度の活動として、**自分達の整備した成果を知ってもらおう!**ということから、樹林整備を行う前・行った後の調査を行うことになりました。

講義の後には、次回の活動で使う調査用の道具として、牛乳パックで作る簡易温度計や、樹木の直径を測る巻尺を作りました。

活動に関するスケジュールは、以下のとおり。

10月21日(金)・・・岐阜大学生による講義

10月28日(金)・・・現地での調査(整備前調査)

講義の様子

樹林整備の効果を調査しよう!



講義の内容

調査目的、調査はどんなものか
次回に取り組む調査の内容
調査に使用する道具の使い方
野帳への記入のしかた
照度計の使い方



10月21日(金)に古損木の整備・効果検証のエリア作りが行われました。

10月28日(金)に笠原の森で行われる樹林整備の効果調査に向けて、ワーキンググループメンバーによる、安全管理として枯れた木の整備、調査に向けて10m×10mのエリアにビニールテープを張りました。

枯れた木の整備では、調査エリアの枯れた松の木を中心に、生徒が安全に調査が出来るようにと、森全体の安全確認も含めて行われました。



参加メンバー

NPO法人 鎮守の森
笠原町役場
岐阜県 東濃地域農林商工事務所
多治見砂防国道事務所

調査エリアの作成



枯れた木の整備



10月28日(金)に樹林整備の効果に関する調査を実施しました。

10月28日(金) 6つの班毎に**岐阜大学生がリーダー**となり、樹林整備の効果に関する調査が行われました。

今回は、樹林整備をする前の段階での調査を行いました。

10m×10mの大きさのエリアの中で、以下の調査を行いました。

- ・ **毎木調査**(直径、樹高、樹種、分布)
- ・ **気温調査**(エリア内3箇所、林外1箇所)
- ・ **照度調査**(エリア内1箇所、林外1箇所)

毎木調査では、前回作成した直系巻尺や、2mの赤白ポールを駆使して直径、樹高を調べました。

道具の使い方や、樹種については岐阜大学生の指導のもとに行われ、作業中の安全確保については、多治見砂防国道事務所、東濃地域農林商工事務所のサポートで行われました。

リーダーとなった岐阜大学生



調査の様子



気温調査



樹高の計測



毎木調査



照度調査



生徒の感想

太くて大きな木がない！
照度が低いほど木が小さい。
調査に戸惑ったけど、木の種類が覚えた。
木の高さ、種類がこんなに違うとは思わなかった。
細い木が多かった、暗かった。
見た目がすごく悪かった。

等の感想がありました。

リーダーを中心に反省会



反省と感想の発表



土岐川流域グリーンベルト整備事業は、多治見市・土岐市・笠原町の緑を対象とし、市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯(グリーンベルト)として保全・創出することにより、**土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全**することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

〒507-0804 岐阜県多治見市坂上町 6-34

TEL : (0572)25-8024

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>